

2006年12月12日

各位

情報コミュニケーション学会 会長 阪井 和男
第4回全国大会実行委員長 松永 公廣

情報コミュニケーション学会 第4回全国大会のご案内

拝啓

雪の便りが届く季節になりましたが、皆様におかれましてはますますご活躍のことと存じ上げます。
本学会は、情報コミュニケーションに関心のある小学校・中学校・高等学校・大学の教員が中心となり、情報交換・交流の場としての役割を果たし、実践的な研究をとおしてよりよい教育をおこなうために活動を行っております。

さてこの度は、2007年2月17、18日に開催されます、情報コミュニケーション学会第4回全国大会のご案内を差し上げる次第です。

つきましては、企画セッション・一般発表・ワークショップの発表者を募集いたします。小・中・高校・大学の先生方、企業のみなさまのご発表をよろしく願います。

みなさまのご協力をよろしく願います。

敬具

記

1. 期日 2007年2月17日(土)、18日(日)
2. 会場 摂南大学 寝屋川学舎10号館6階(大阪府寝屋川市池田中町17番8号)
交通アクセスについて、詳しくは <http://www.setsunan.ac.jp/access.html> をご参照下さい。また、大会当日は駐車スペースがございませんので、公共交通機関でお越し下さい。
3. 主催 情報コミュニケーション学会
4. 後援 (依頼予定) 兵庫県教育委員会、大阪府教育委員会、寝屋川市教育委員会、ひょうごeスクール コンソーシアム、兵庫県教育工学研究会、近畿情報教育連合、教育システム情報学会関西支部、情報文化学会近畿支部

5. 日程 < 2月17日(土) >

- 10:00～ 受付
10:30～12:00 一般研究発表
12:00～13:00 昼食
13:00～13:30 総会
13:30～15:30 企画セッション(4会場)
キーワード: キッズ, 生徒、学生、社会人、携帯とコミュニケーション、e-ラーニング、情報教育
K1(テーマ: 基礎学力とコミュニケーション能力)
K2(テーマ: 携帯によるモバイルコミュニケーション、教育、地域の安全・安心)
K3(テーマ: 実践型 e-ラーニング、評価)
K4(テーマ: 多様な能力を持つ人のための情報教育)
15:45～17:15 基調講演
摂南大学経営情報学部教授 三藤 利雄
「コミュニケーション技術は社会とどう関わってきたか」
17:30～ 懇親会(11号館11階ルーエ DAIROKU)

< 2月18日(日) >

- 09:00～ 受付
09:30～12:30 一般研究発表
12:30～13:30 昼食
13:30～15:30 一般研究発表・ワークショップ

6. 研究発表 申し込み締切 1月 22日(月)

論文提出締切 2月 1日(木)

別紙【研究発表申し込み】をご覧ください

7. 参加費等 参加費 1,000円 論文集 3,000円 懇親会費 4,000円

8. 大会事務局 摂南大学経営情報学部松永公廣研究室内
情報コミュニケーション学会第4回全国大会実行委員会
(E-mail: cis2007@kjo.setsunan.ac.jp)

9. 全国大会ホームページ <http://www.sonoda-u.ac.jp/cis/>

企画セッションについて

K1 テーマ「基礎学力とコミュニケーション能力」

キッズ、生徒、学生、社会人らの読む、聞く、書く、話す、判断する、考える力の低下が問題になっている。これらの力は、私達がコミュニケーションをとる場合に不可欠な力であり、国語科の基礎学力として重要である。また、メディアをとおしてコミュニケーションを行う場合には、「ことば」を通して「思い」を伝えるスキルも必要となってくる。そこで、これらをはじめとする基礎学力と情報社会に必要なコミュニケーション能力との関係に焦点を当てた研究発表などを期待する。

K2 テーマ「携帯によるモバイルコミュニケーション、教育、地域の安全・安心」

情報化社会の中で 携帯電話は生活になくてはならない状況になってきている。そして高齢者携帯、GPS 携帯、お財布携帯、音楽携帯が市販されるとともに、i-pod の周辺機器も充実している。音声やメールでのコミュニケーションだけでなく、教育のさまざまな場面に登場し、地域の安全・安心を高めるシステムに組み込まれたりしている。しかし携帯を使えば自動的に目的が達成できるわけではなく、利用者の知的活動を基礎として試行錯誤で実現されるが、現在それを有用に活用できる条件を考察すべき時期に来ている。これらの条件の輪郭を多くの事例から描くことを期待する。

K3 テーマ「実践型 e-ラーニング、評価」

様々な e-ラーニングシステムが開発されているが、開発のプロセスや実践結果の一部は発表されているが、実践条件、運用方法、教育目標と成果、教師と学習者のコミュニケーション、学習者同士のコミュニケーション、システムの評価などは曖昧なままで残されている。そこで今回は、e-Learning やさまざまな教育支援システムを評価の視点を強調して整理したい。

K4 テーマ「多様な能力を持つ人のための情報教育」

現代社会において、情報機器の活用は、その良し悪しとは関係なく、確実に増えつつある。また利用者の能力も多様に分布しているため、能力の多様性に注目した実践例を通して情報教育のあり方を議論したい。

ワークショップについて

みんなに「知ってほしい、広めたい」あなたの研究や授業、アプリケーションなどを紹介したり、実際に使ってみたりして、仲間を増やすためのワークショップを設けました。ぜひ、ワークショップを企画してください。展示企業の方もぜひワークショップを開催してください。

時 間 帯：第 2 日目 13:30～15:30

研究発表・応募要項

日 時：2007年2月17日(土), 18日(日)

- 2月17日(土) 10:30～12:00 一般研究
- 2月17日(土) 13:30～15:30 企画セッション(k1-k4)
- 2月18日(日) 09:30～12:30 一般研究
- 2月18日(日) 13:30～15:30 一般研究・ワークショップ

会 場：摂南大学 寝屋川キャンパス 10号館6階 (大阪府寝屋川市池田中町17番8号)

1. 応募資格

学会会員、及び入会希望者の他に、今回は学会会員以外の方の応募も受け付けます。
発表後の入会の義務等は特にありません。

2. 発表時間

- ・ 企画セッション (発表) 20分
- ・ 一般研究 (発表) 20分 (質疑応答) 5分
- ・ ワークショップ 120分以内

3. 発表形式 個人発表・グループ発表のいずれでも可

PC, OHC, VTR等のプレゼン機器の使用可

4. 発表内容

- ・ 個人研究
- ・ 小・中・高校での「総合的な学習の時間」や教科「情報」等の、児童生徒による学習成果の報告
- ・ 大学・短大等の授業やゼミでの、学習・研究成果の報告
- ・ 地域や団体・企業・施設等での、情報コミュニケーションに関する実践活動の報告
- ・ その他

5. 応募方法

次に示す各項目を明記したメール(添付ではなくテキスト形式)にて、申し込み締切日までに大会事務局宛(cis2007@kjo.setsunan.ac.jp)に送信して下さい。

[1]

- K1 (テーマ：基礎学力とコミュニケーション能力)
 - K2 (テーマ：携帯によるモバイルコミュニケーション、教育、地域の安全・安心)
 - K3 (テーマ：実践型 e-ラーニング、評価)
 - K4 (テーマ：多様な能力を持つ人のための情報教育)
- 一般研究
ワークショップ

[2] 発表タイトル(副題も可)

- [3] 要旨 (200 字程度)
- [4] キーワード (5 つまで)
- [5] 著作者 (お名前と所属 , 連名でご発表の場合は口頭発表者に をつけて下さい)
- [6] 連絡先
 - (1) お名前 (漢字とふりがな)
 - (2) E-mail
 - (3) 〒 , 住所
 - (4) 電話番号
 - (5) FAX 番号

6. 研究発表申し込み締切 2006 年 1 月 22 日 (月)

なお , 論文提出締め切りは , 2006 年 2 月 1 日 (木) です .

MS-Word のひな型を用意してありますので , ご利用下さい .

<http://www.sonoda-u.ac.jp/cis/zenkoku/03/cis2007-skeleton-paper.doc>

[1] ワークショップにつきましては , 論文の提出はありません . 発表タイトルと要旨 (開催意図と内容がわかるもの) を , 大会事務局宛 (cis2007@kjo.setsunan.ac.jp) にお送り下さい .

7. 応募送信先 大会事務局 摂南大学経営情報学部松永公廣研究室内
情報コミュニケーション学会第 4 回全国大会実行委員会まで
E-mail: cis2007@kjo.setsunan.ac.jp